

研究主題 生徒が主体的に学習へ向かうための指導の工夫

～誰でも実践可能な授業を目指して～ 【題材名】ジャズ・セッションに挑戦！

I 団体の概要

東京都高等学校音楽教育研究会は、都内の高等学校教員による研究団体であり、我が国の音楽教育の発展に寄与することを目的として活動しています。都内を9地区に分け、各地区の輪番で、年1回研究大会を行っています。また、会員による、研究演奏会等も実施しています。

II 令和7年度研究大会 研究主題の設定

研究主題を設定するに当たり、研究大会担当地区である第3地区の音楽科教員に対し、授業に関するアンケートを実施した。その結果、音楽がもつ深い味わいや豊かな表現を十分に理解させる指導が十分にできていないことが課題として挙げられた。協議の結果、この課題に取り組むに当たり、次の条件を設定した。

- 音楽に触れる時間が多い（理論ばかりに偏らない）
- コミュニケーションが取れる
(意見交換や音によるコミュニケーションなど)
- 生徒が没頭できるものがある（受け身にならない）

これは、学習指導要領総則に示された「主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努める」ことにもつながる。以上のことから、研究主題を「生徒が主体的に学習へ向かうための指導の工夫」と設定し、その教材として、生徒の身近にありつつも、教師が指導に習熟していないジャズ・セッションを取り上げることにした。

III 研究授業に向けた検討会の実施

研究授業に向け、玉川大学 清水宏美教授と、東京音楽大学 和田崇教授を助言者に招き、次のとおり検討会を実施した。

令和6年12月12日	・ 研究授業実施校における授業見学 ・ 清水教授・和田教授によるレクチャー
令和7年2月10日	・ 学習指導案に関する検討① ・ 清水教授・和田教授によるレクチャー
令和7年3月4日	・ 学習指導案に関する検討②
令和7年5月13日	・ 学習指導案に基づく模擬授業の実施 ・ 清水教授によるレクチャー

検討会では、誰でも実践可能な授業デザインを前提に、研究授業を実施することを確認した。また、「ジャズのアドリブの創作手順」や生徒に伝える「ジャズらしさ」について検討し、理解を深めた。

その結果、本研究では、次のように捉えたうえで研究授業を構想することとした。

- ジャズに特有なアドリブの創作手順について
マイナー・ペンタトニックの中の一音からスタートし、徐々に音数を増やして伴奏のリズムに合わせながら演奏する。
- 生徒に伝える「ジャズらしさ」について
スウィングのリズムが「ジャズらしさ」につながる。鍵盤ハーモニカを用い、スウィングのリズムを身に付けられるようにする。

IV 研究授業における指導の過程

検討会での協議を踏まえ、研究授業における指導の過程を次のとおり設定した。

1 導入（鑑賞）

ジャズの特徴と文化的・歴史的背景を理解し、ジャズ独特のノリや雰囲気を味わう。

鑑賞曲「モーニン（Moanin'）」の批評文を記述し、出会った音楽が自分にとってどのような価値があるか、その音楽的な根拠も述べられるよう学習指導を行う。

2 予備学習（器楽）

鍵盤ハーモニカを用いて、ジャズのリズムを習得する。

鍵盤ハーモニカの演奏に際しては、生徒の技能を伸ばす観点から、オリジナルの教材曲を作成した。

3 展開（創作①）

4小節程度の旋律創作を行う。予備学習で習得したリズムやフレーズをもとに条件を指定して創作し、記録する。

生徒が作成するアドリブ部分（4小節のオリジナル・ソロ）の条件として反復・変化の手法を用いることとし、図形楽譜の使用も可とした。

4 展開（創作②）

12小節の即興演奏を行う。グループでジャムセッションの構成を考え、イメージに合わせた即興創作を行う。

個人で考えたオリジナル・ソロをグループで共有し、ソロの演奏順を考え、前打音、トリル、トレモロ、グリッサンドなどの変奏を考え、演奏しながら試行錯誤を繰り返す学習活動を行った。

【研究授業の実施】

日時 令和7年6月17日（火）第5校時
 場所 都立石神井高等学校 音楽室
 対象 第1学年A・B組 音楽選択者 25人
 授業者 戸田 星良 主任教諭

V 研究の主な成果

- 生徒の身近な楽器を用い、基礎的な内容から少しずつ難易度を上げるよう授業を構想したことで、生徒は、技能習得の困難さを感じずに楽しみながら学習することができた。
- 教材である12小節のブルース進行とスウィング感伴う曲調、アドリブにおける自由な発想により、生徒の主体的な学びを促すことができた。セッション中のリレー形式によるアドリブの発表は、対話的かつ共感的な態度の育成に資するものであった。
- 誰でも実践可能な実践を目指し、第3地区の教員が共同で指導案を作成したことは大きな成果となった。



<令和7年度連絡先>

団体名		東京都高等学校音楽教育研究会
代表者	所属	東京都立保谷高等学校
	職 氏名	校長 石丸 昌延
	連絡先	042-422-3223
事務局	所属	東京都立東久留米総合高等学校
	職 氏名	主任教諭 橋場 友彦
	連絡先	042-471-2510